

# ギリシャ危機 その背景と深層を探る

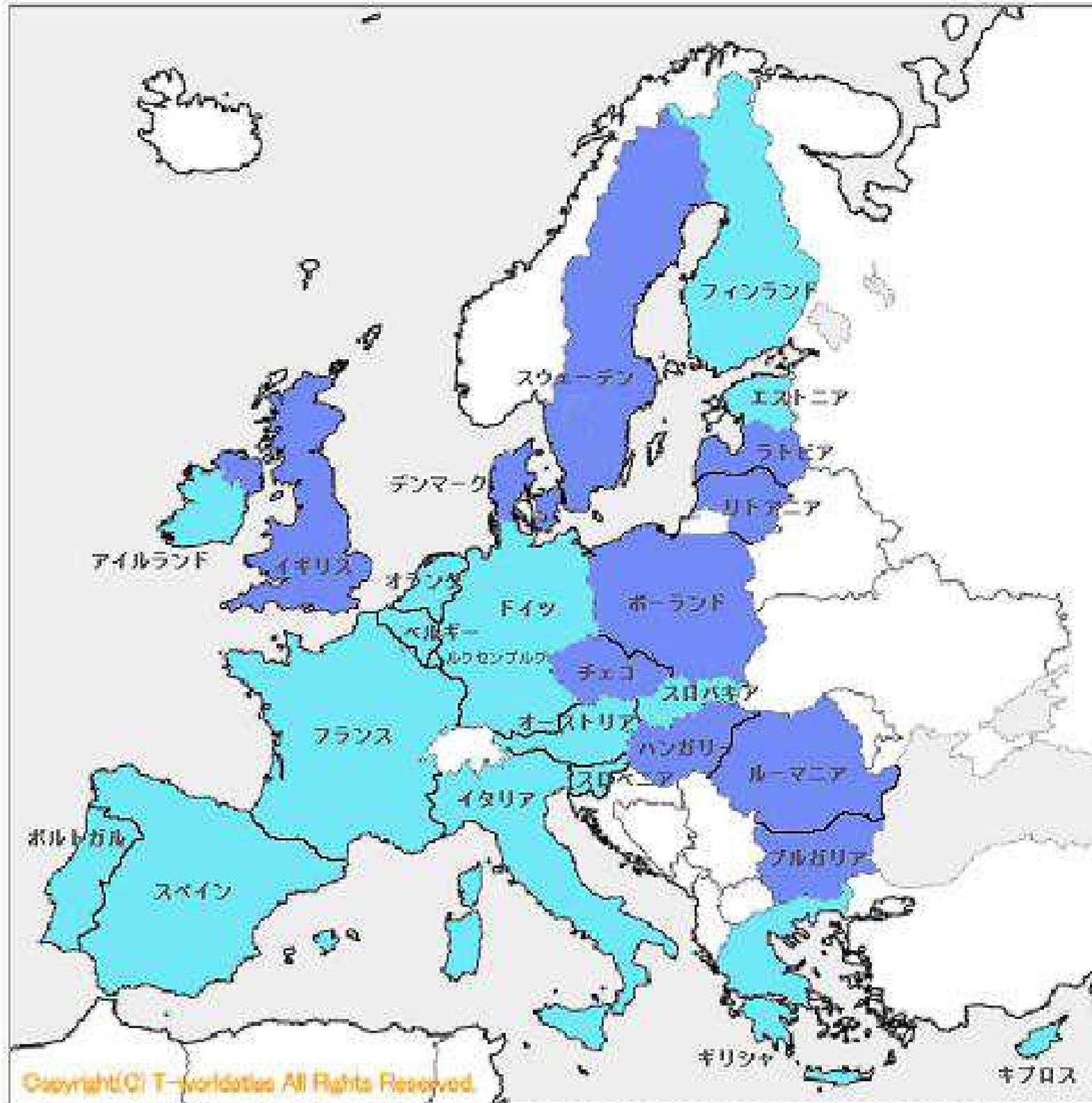
2015年7月24日(金)

新潟市庁舎にて

新潟大学 佐藤芳行

[sato@econ.niigata-u.ac.jp](mailto:sato@econ.niigata-u.ac.jp)

025-262-6515



# はじめに

- ギリシャ債務危機に関する俗説  
ギリシャ人の「怠惰」  
「身の丈にあった生活をしていない」  
多い公務員比率・高い給与水準
- 今日の報告の趣旨  
ギリシャ危機はユーロ圏全体の危機  
連邦政府なき単一通貨ユーロは可能か？  
問われているのは「ドイツ問題」

# Sir Nicolas Kaldor (1970)

しかし、貨幣・経済同盟が政治的同盟に先行することができるとか、あるいは(ヴェルナー報告の言葉を用いると)「それがともかく不可欠な政治的同盟の発展のための酵母として」働くことができると考えることは、危険な誤りだ。なぜならば、通貨同盟の創設と、【連邦政府の創設ではなく】国家予算に対する共同体の統制がシステム全体の崩壊につながる圧力を生み出すならば、それは政治的同盟の発展を促進するのではなく、妨害することになるだろう。

# 1 ギリシャ:2009年以降の経緯

- 2009年、ギリシャ総選挙

ND→PASOKへの政権交代

前政権による不正会計処理の発覚

(ゴールドマンサックスが関与)

- 2010年の事実上のデフォルト(債務不履行)

トロイカ(EC、ECB、IMF)

ユーログループ(主にドイツの債権者を代表)

→救済融資(第一次、第二次)

# 1 ギリシャ：経緯

- 救済融資の条件

GDPの15%に相当する緊縮の強要

ギリシャ政府の受け入れ

①増税＋②支出削減

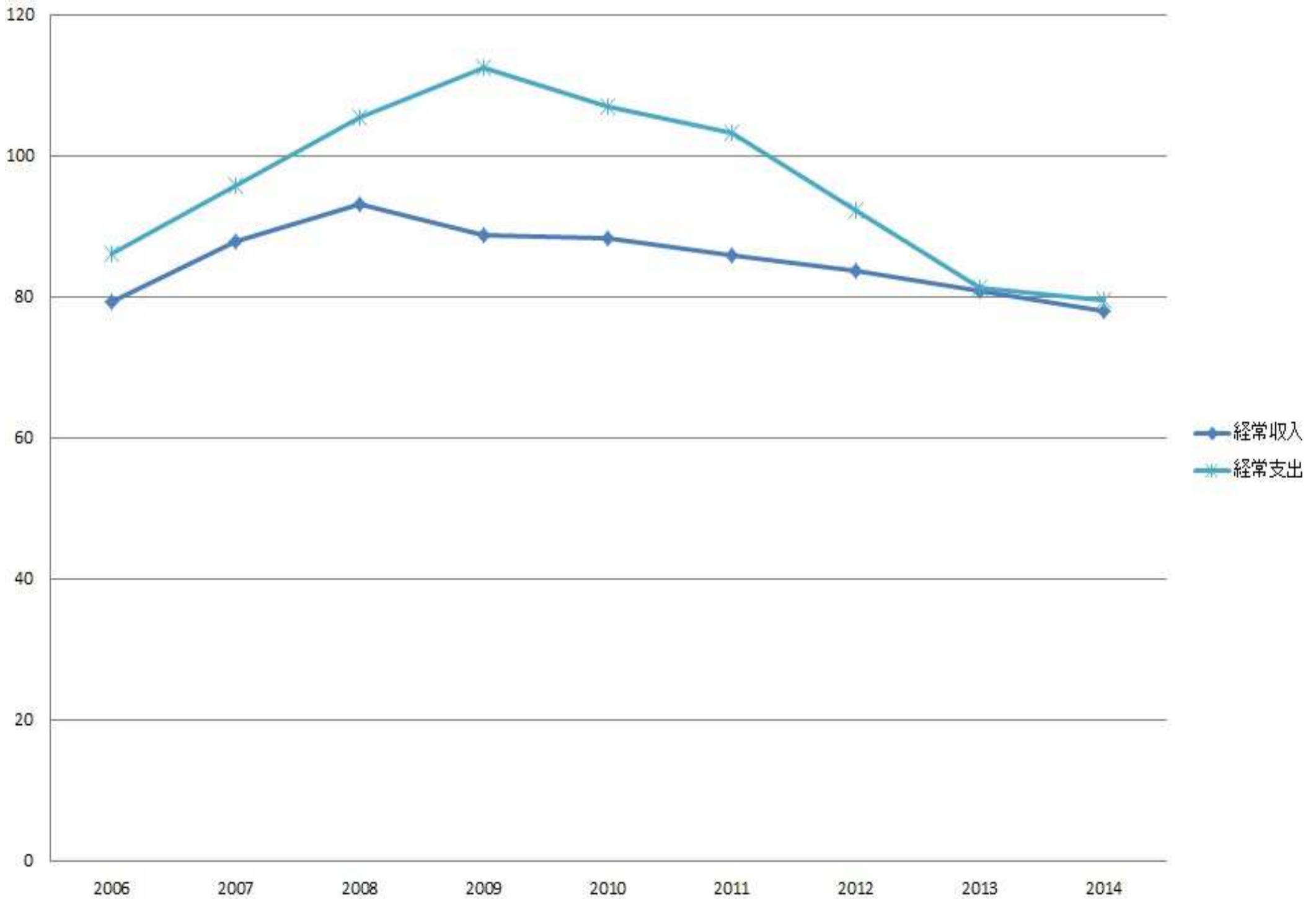
- 結果

国民の可処分所得を奪う→有効需要の減少

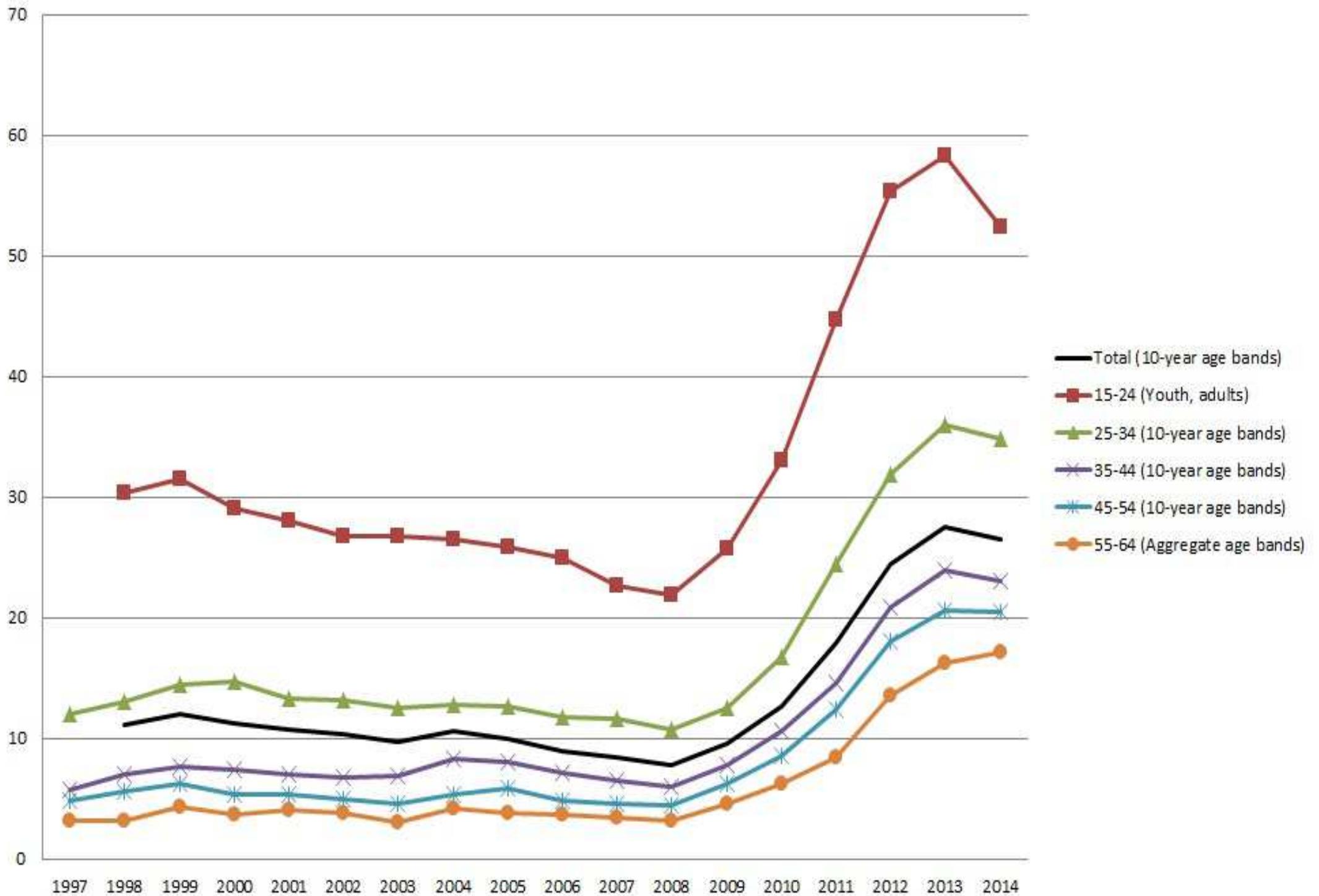
政府支出の削減による有効需要の減少

GDPの25%の累積的縮小、高失業

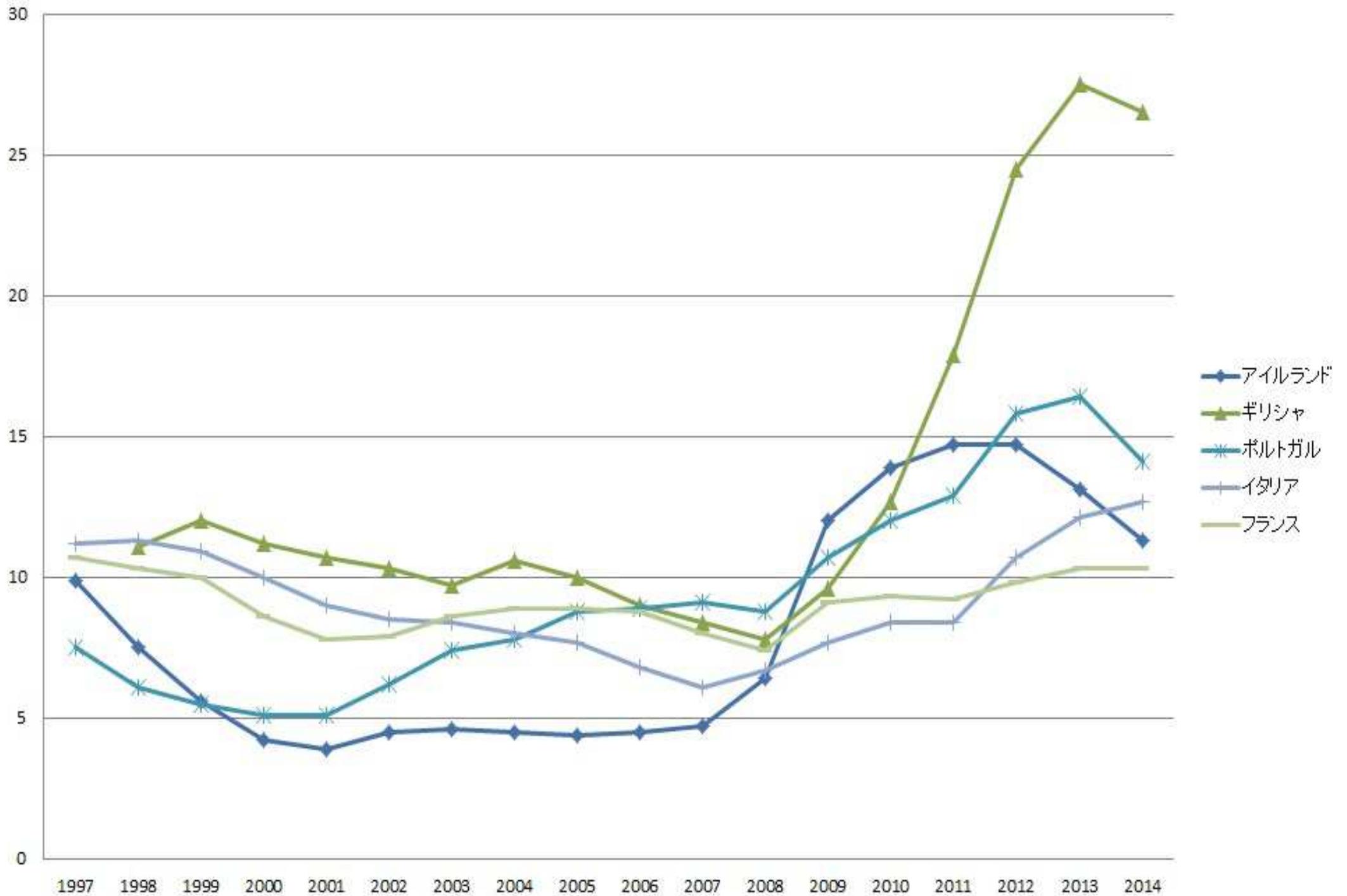
ギリシャ一般政府の財政収支 単位:10億ユーロ



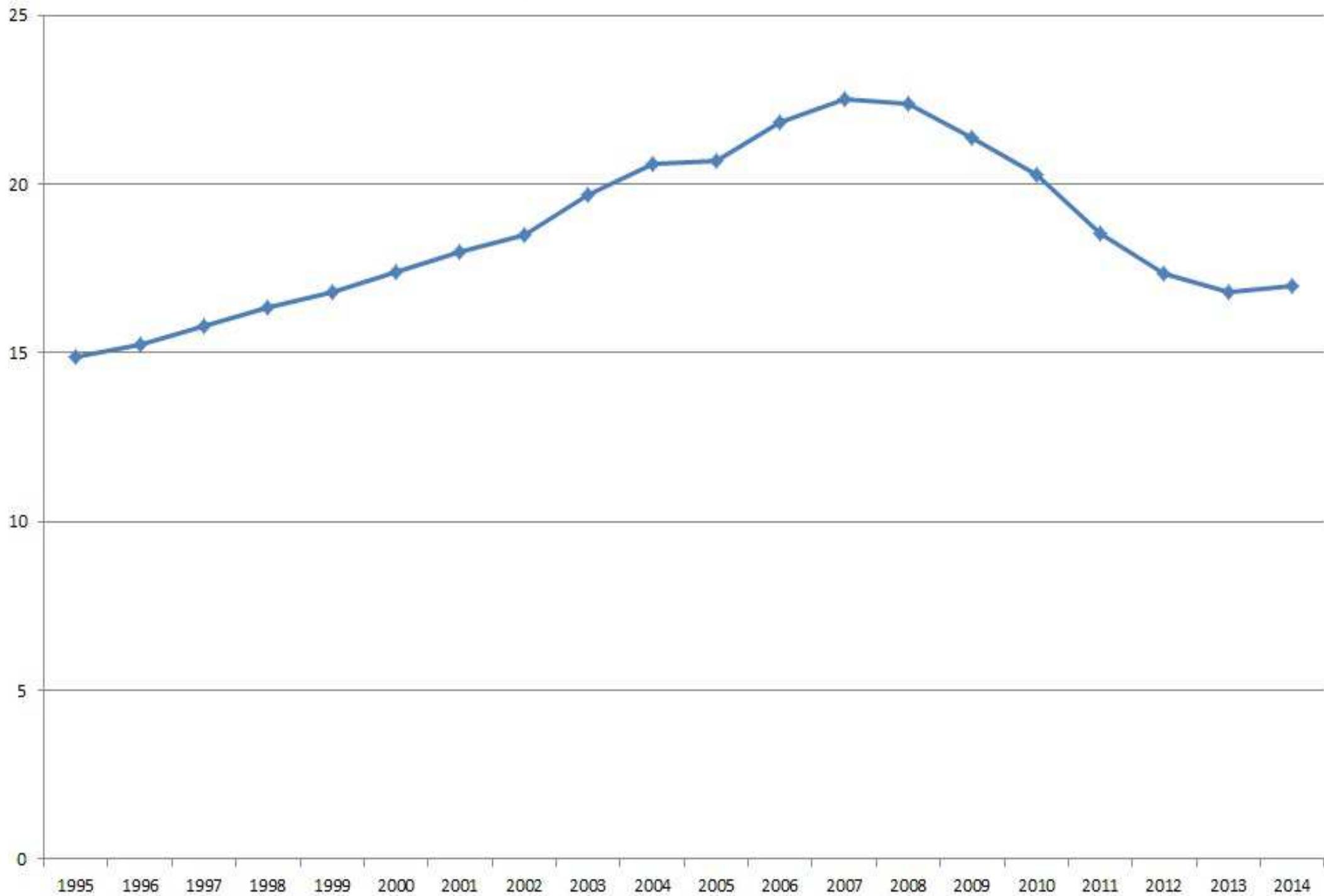
# ギリシャの失業率 年齢別 パーセント



# ユーロ圏の失業率 パーセント



# ギリシャの国民総生産 単位:千ユーロ/人



# 1 ギリシャ：経緯

- 2014年から救済融資（第三次）の交渉  
ユーログループの強硬な緊縮圧力
- 2015年1月  
総選挙で Syriza の勝利  
2月再交渉 ユーロGの強硬姿勢は不変  
7月5日 ギリシャ国民投票で緊縮反対

# 1 ギリシャ：経緯

- 2015年7月5日ののち

再交渉（新財務相、ツァカロトス）

緊縮案とひきかえに救済融資？



今後どうなるのか？

債務の拡大？ 軽減

緊縮の継続による経済縮小？

## 2 EU債務危機の起源

- ギリシャ政府債務の拡大の前に何があったのか？
- それを知るためには、次の3期を理解する必要

1990年代 単一通貨の創設準備期

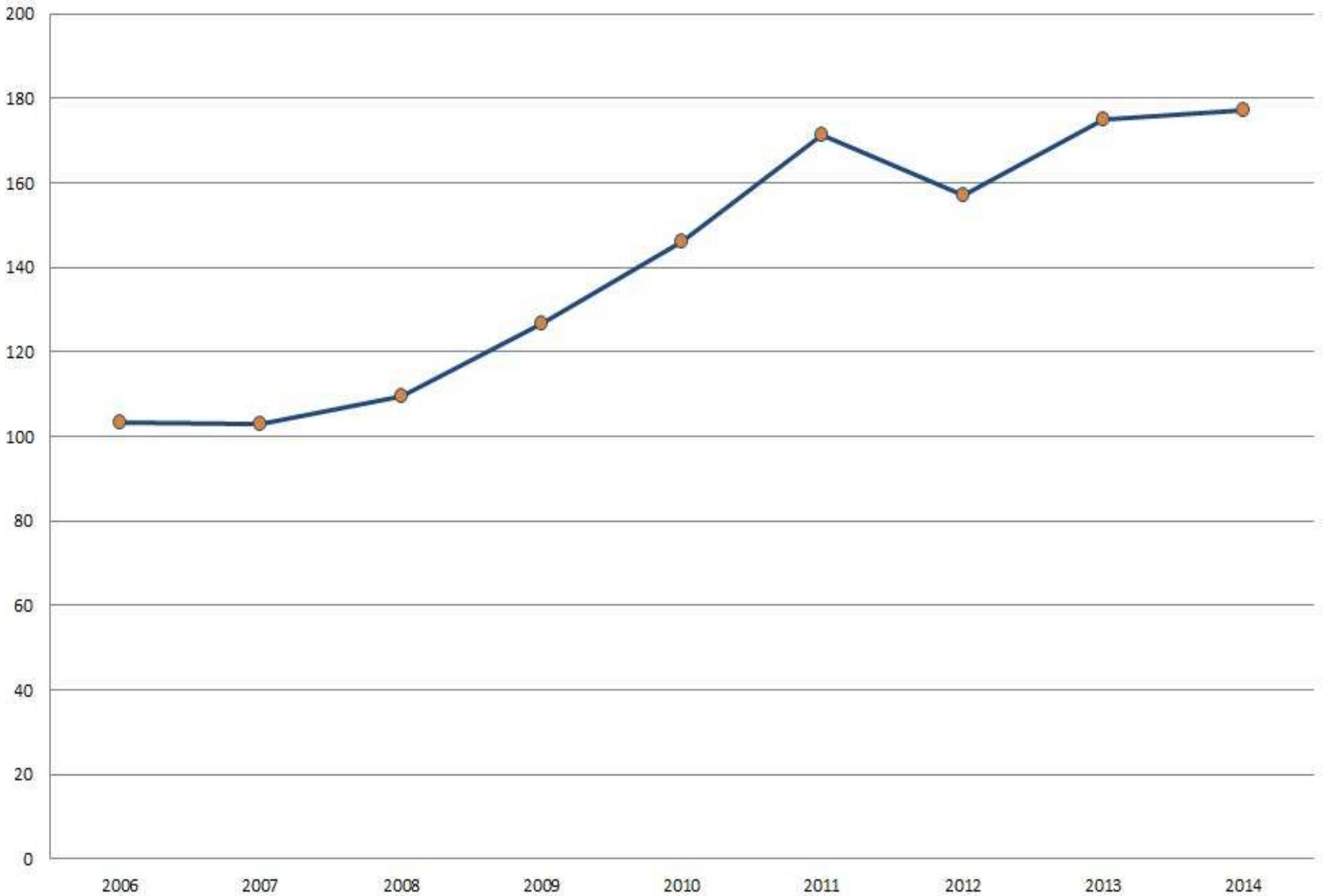
2000年代 資産インフレーションの端緒  
域内の不均衡の拡大

2006年以降 EU債務危機の発生と顕在化

# ギリシャ政府の純借入 GDP比 パーセント



# ギリシャ政府の粗負債 GDP比 パーセント



## 2 EU債務危機の起源

- 1990年代
- EMU(経済通貨同盟)  
固定相場制→ユーロの準備
- マーストリヒト+SGPの収斂基準  
政府赤字: GDPの3%基準  
政府粗債務: GDPの60%基準  
↓  
特に周辺国にとっては「緊縮」を意味

## 2 EU債務危機の起源

- 1990年代

ドイツの「独善」といわれる事態

ドイツの競争力の拡大→不均衡の拡大

(貨幣賃金抑制→フラットな単位労働費用)

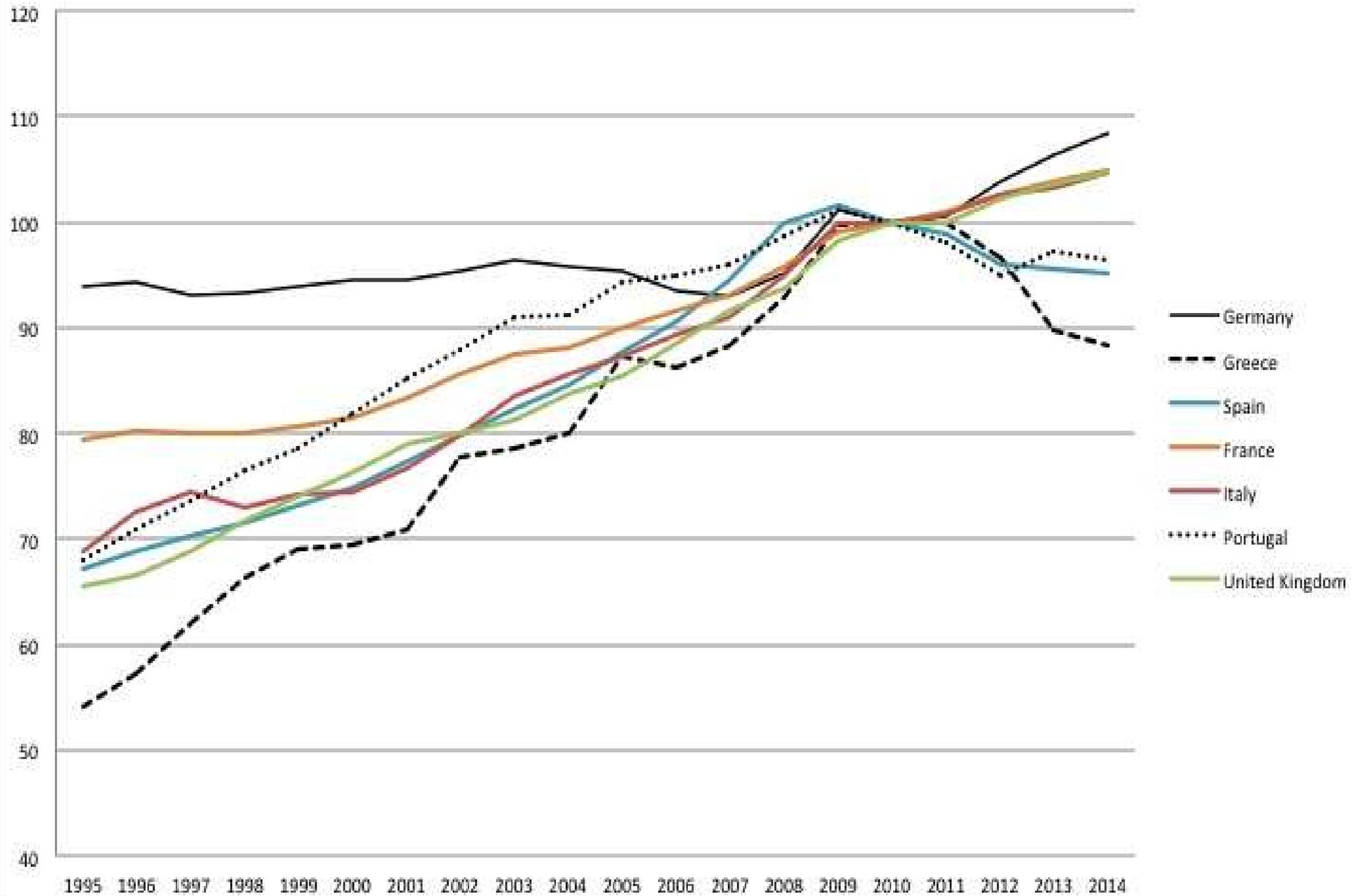
その結果

EU諸国全体の景気後退

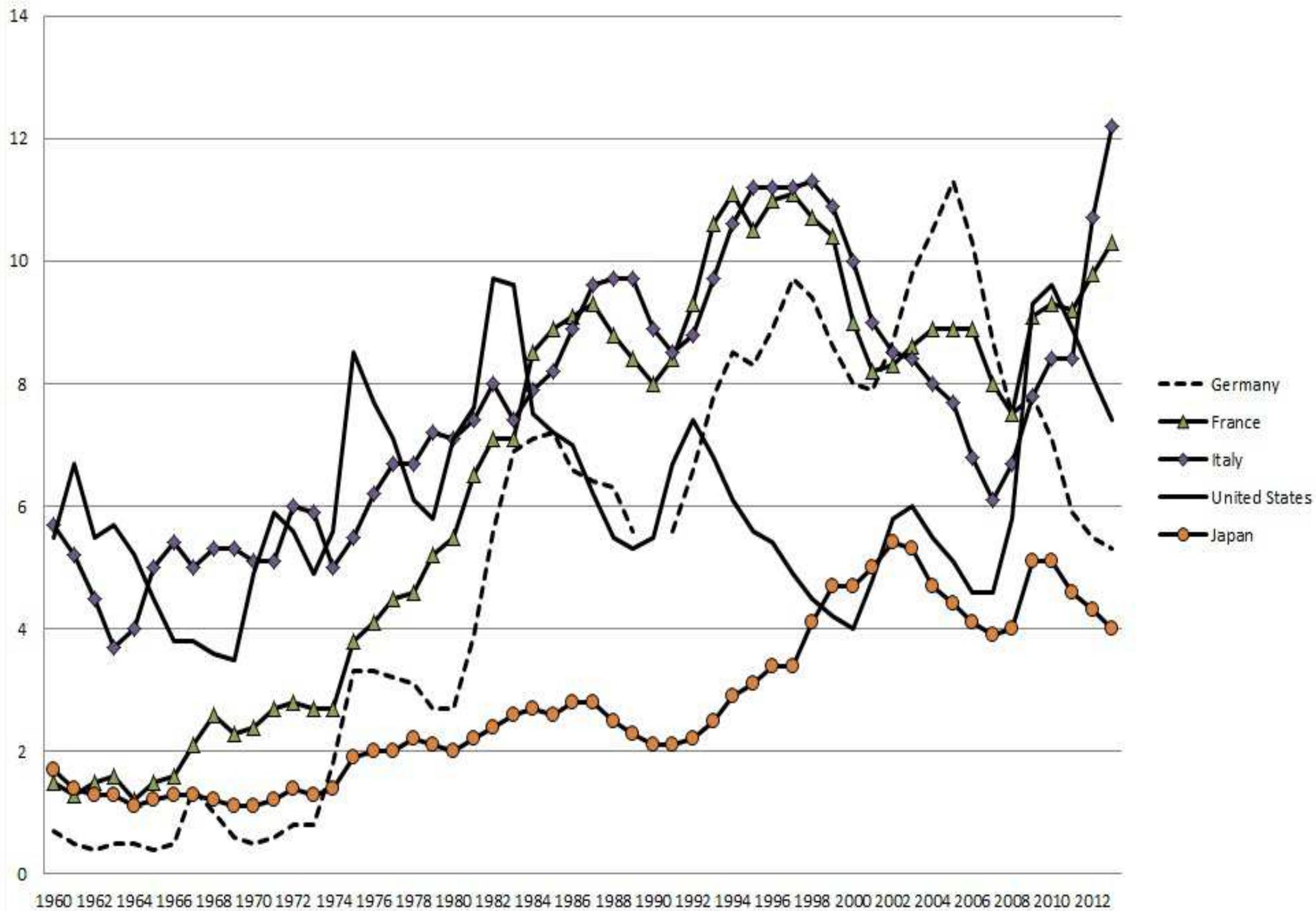
高失業＋賃金抑制

ユーロ圏企業の低迷

# 名目単位労働費用の推移 2010年=100



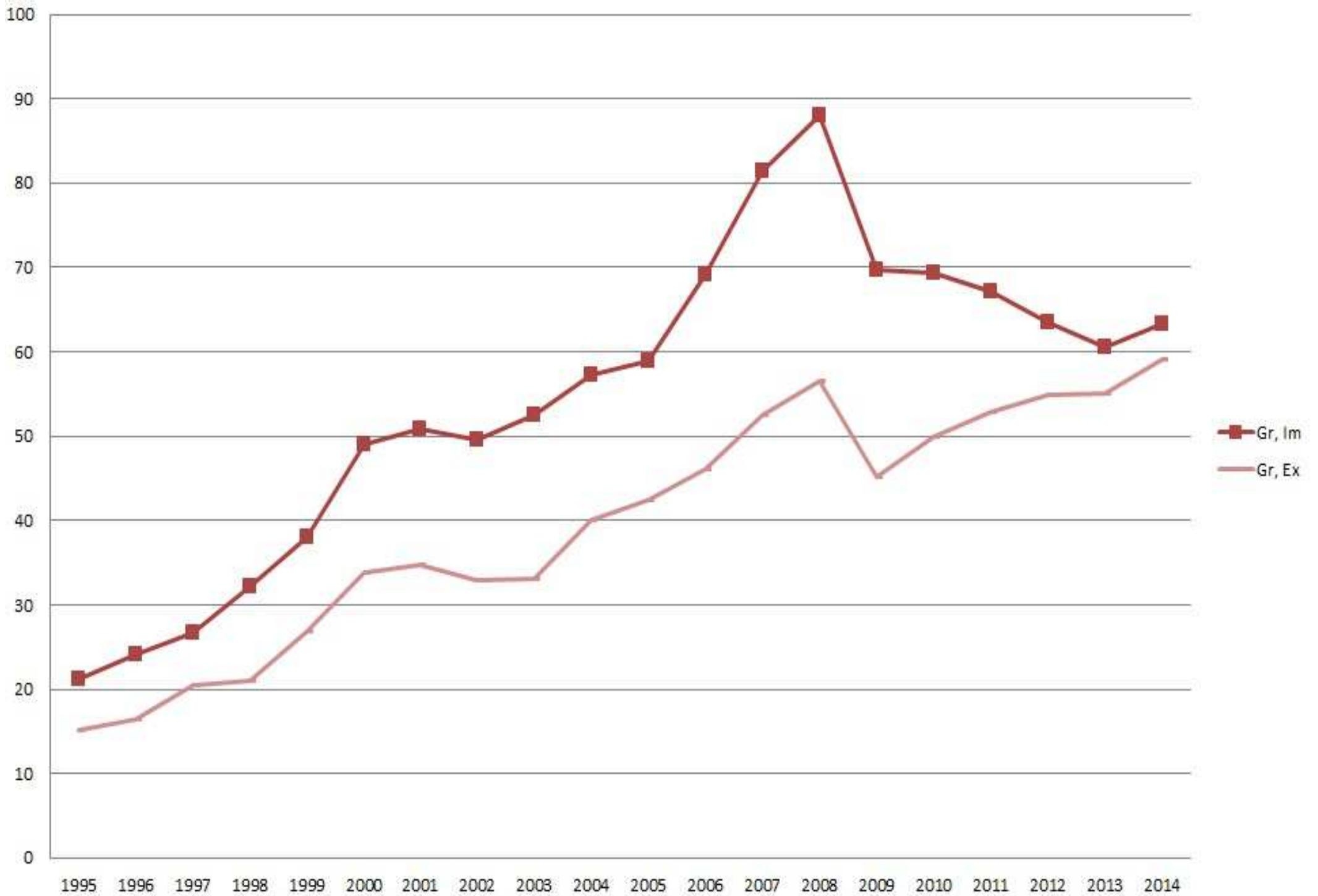
# 失業率の推移 パーセント



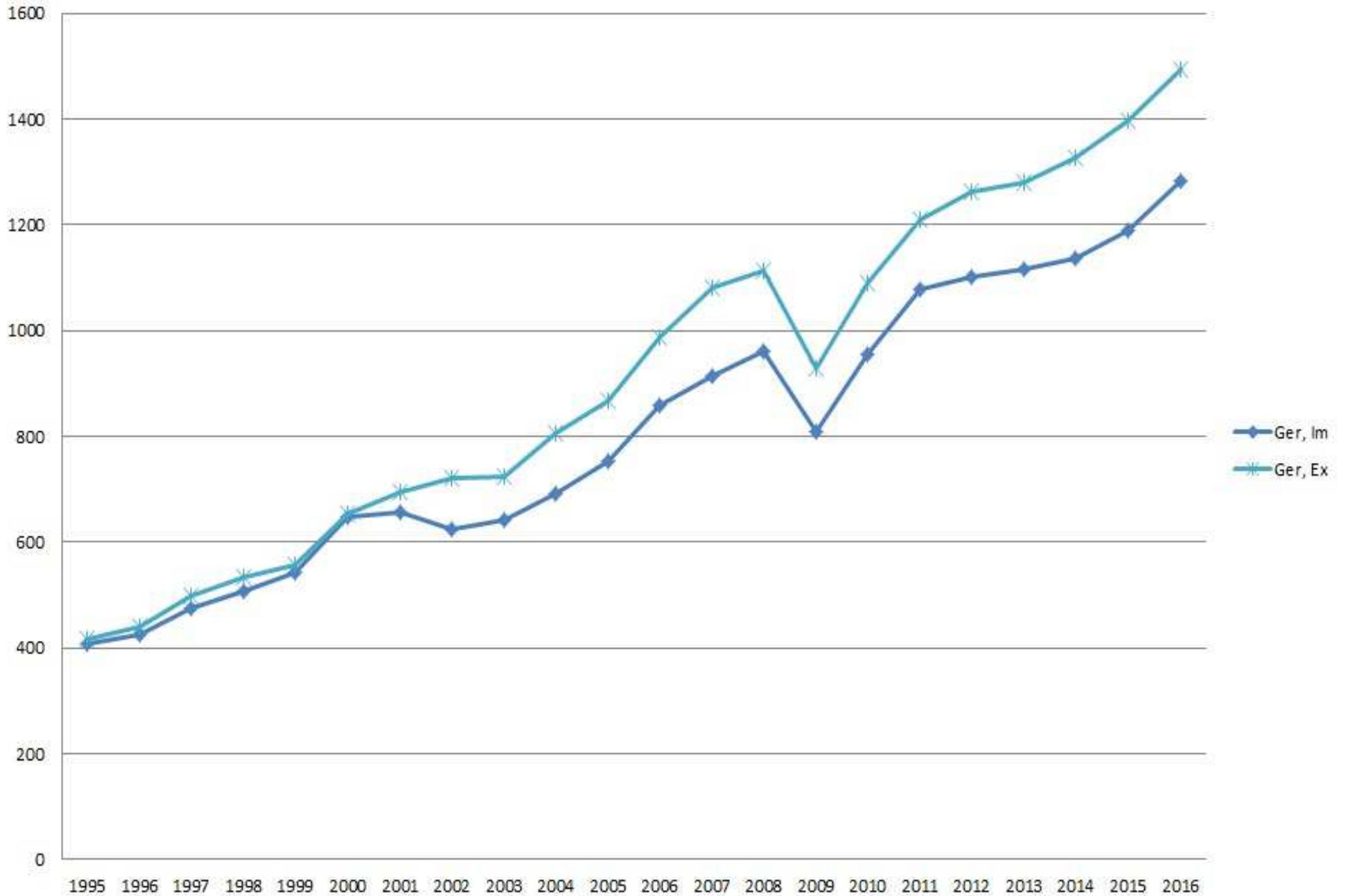
## 2 EU債務危機の起源

- 2000年代
  - ヨーロッパの2極化＝経常収支の不均衡
    - ・中心国(ドイツ):
      - ドイツの銀行による融資→債権拡大
      - ドイツの輸出業者による超過輸出
    - ・周辺国
      - 企業、家計の借金
      - 借金による超過輸入
- 金融化
  - 2003年、ECBの金融緩和
  - 米国ITバブル崩壊後、物価上昇率が2%以下に低下
    - ECBの金融緩和策 → 巨額の資金が投機に

ギリシャの輸出入 単位:10億ユーロ



ドイツの輸出入 単位:10億ユーロ

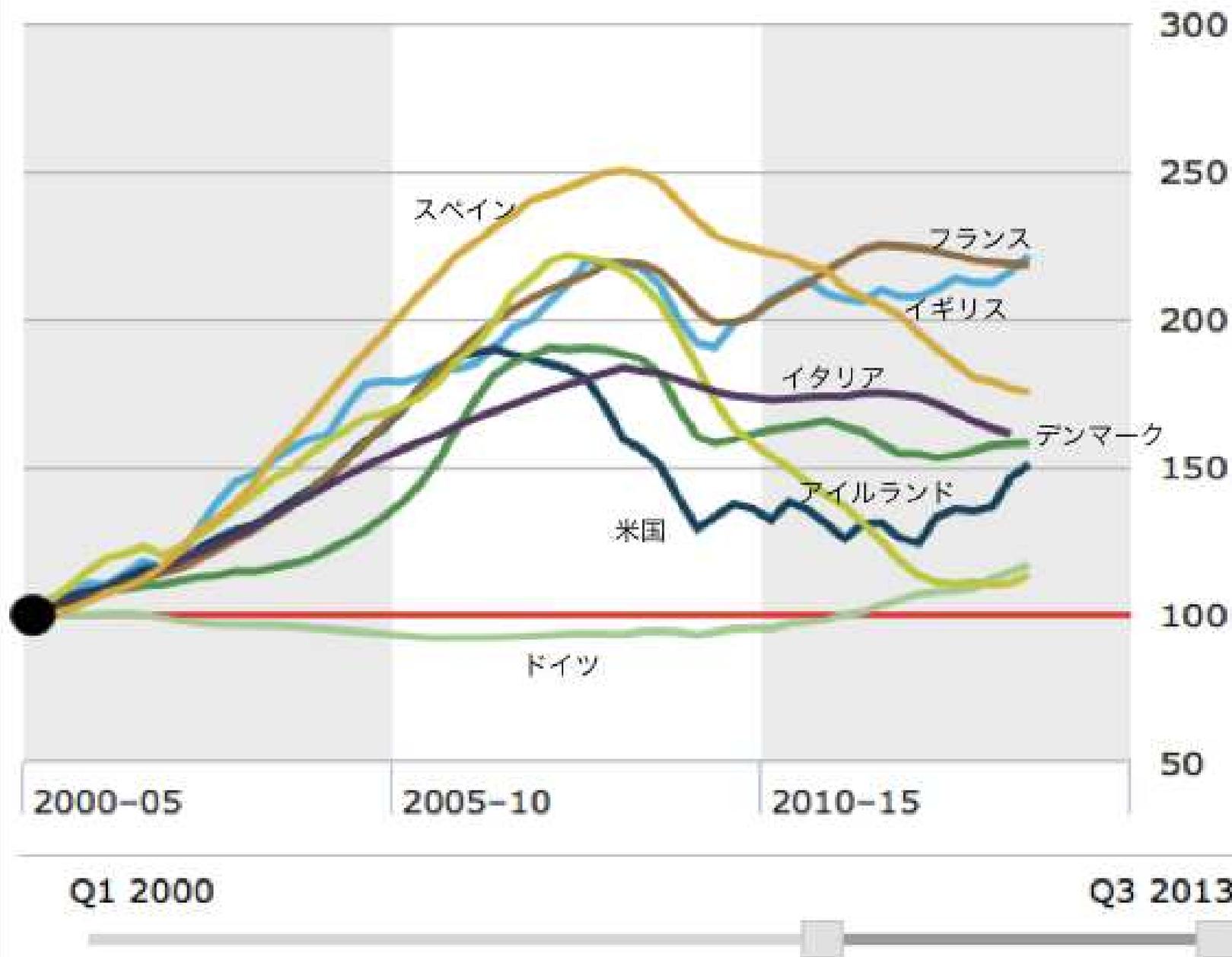


## 2 EU債務危機の起源

要約すると、

- 21世紀初頭におけるEU景気拡大の道
  - ドイツ 新重商主義＋金融・融資の拡大
  - 周辺国 債務による消費ブーム
- それを促進した要素
  - 金融化
    - 銀行による預金通貨の創造
    - 資産（土地、住宅、株式など）への投機

Q1 2000=100



Sources: Central Statistics Office Ireland; FHFA; OECD; Office for National Statistics; Standard & Poor's; Thomson Reuters

## 2 EU債務危機の起源

- 2006年以降  
金融崩壊  
民間債務危機の顕在化  
↓  
2007年、投資銀行の取り付け(run)  
2008年8月、リーマンショック  
ECBの量的緩和(不良債権の買取り)  
連邦政府の不在→各国の財政支出  
→ソブリン危機(ギリシャは最弱経済)

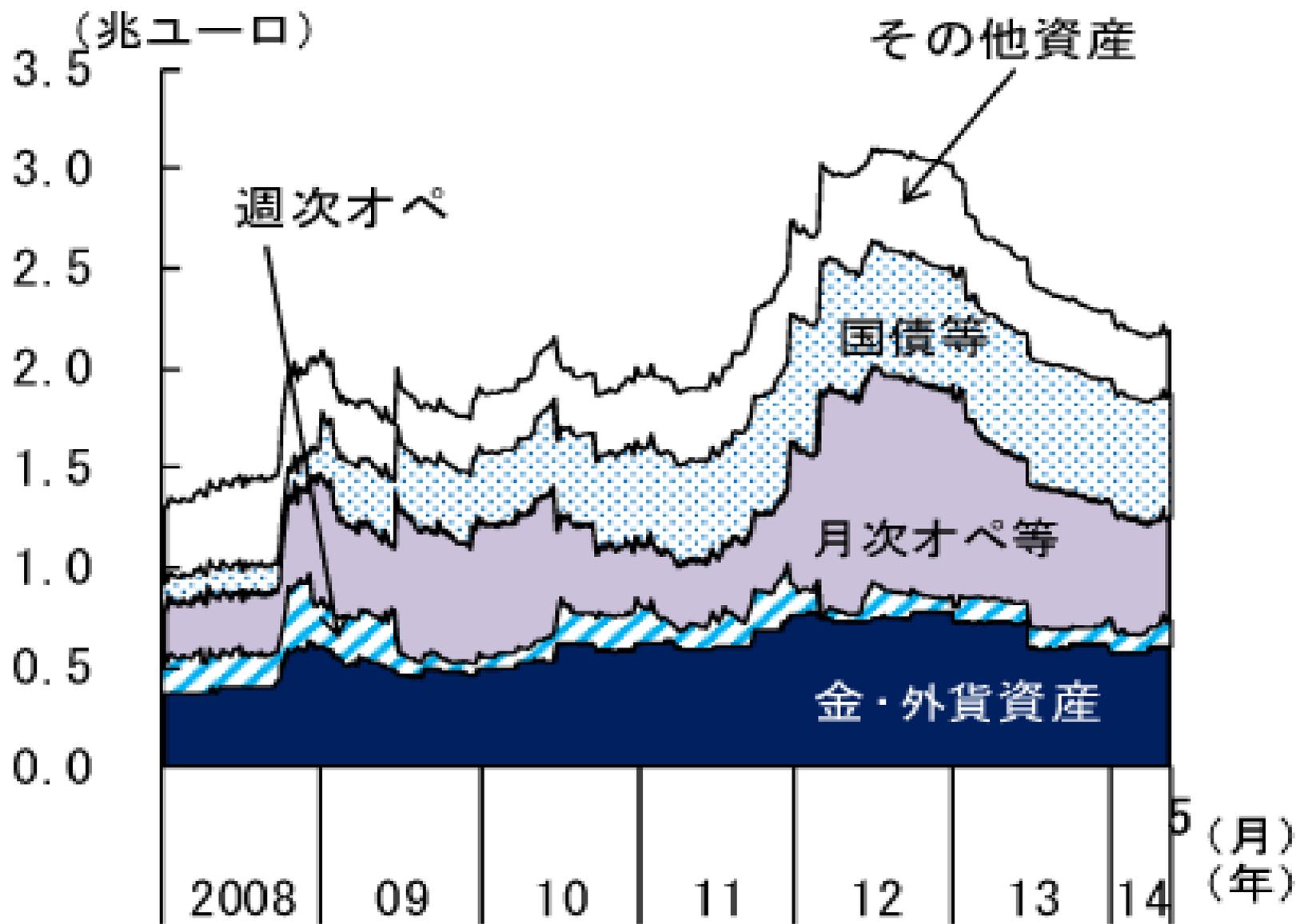
### 3 金融崩壊の結果は？

ポイント(再)

- 欧州中央銀行(ECB)による救済  
QE(量的緩和)という名の  
銀行の不良債権の買取り
- しかし、連邦国家は存在せず、  
各政府の負債は、各国民の負担に  
銀行もECBの規則に従うが、  
各国の銀行として行動する

# ECBの資産構成

内閣府「世界経済の潮流2014年」



(備考) 欧州中央銀行より作成。

### 3 金融危機の結果は？

- 周辺国の置かれた状況  
(ギリシャ、スペイン、ポルトガル、イタリアなど)  
マーストリヒトとSGPの基準(事実上放棄)  
各国財政の赤字／累積債務  
トロイカ等による緊縮の強要  
単一通貨でいる限り、為替調整はない  
↓  
競争力をつけ、経常収支を回復するためには  
賃金率の激しい低下しかない

# むすび

- まとめ
  - 次の問題がEUに突きつけられている
    - 単一通貨(ユーロ)は持続可能か
    - 為替調整は不可能
    - 危機に対応する連邦政府はない
    - 創出できるのか？
    - ドイツの新重商主義

# むすび

- ユーロ圏の解体か？  
きわめて大きな苦痛を与える。  
勇気のある政治家はいない／国民も望まず。
- 連邦国家は生まれるか？  
ドイツは拒否
  - ・EUは完全にドイツの影響下にある。
  - ・メルケル、ショイブレ財務相の決定に依存  
そのシナリオは、  
ギリシャを離脱させる。  
他の国を再統合する。

# むすび

- 死に体のEUとユーロ圏  
前に進めず  
後ろにひけず
- ギリシャ問題でも  
トロイカ: 比較的ギリシャに寛大  
フランス: ギリシャに同情的だが、・・・  
ユーログループ(ドイツ)の強硬姿勢

# Pew Research Center

## Decline in Support for the European Project

	<i>Economic integration strengthened economy</i>			<i>Favorable of EU</i>		
	<b>2012</b>	<b>2013</b>	<b>Change</b>	<b>2012</b>	<b>2013</b>	<b>Change</b>
	%	%		%	%	
<i>Germany</i>	59	54	-5	68	60	-8
Britain	30	26	-4	45	43	-2
France	36	22	-14	60	41	-19
Italy	22	11	-11	59	58	-1
Spain	46	37	-9	60	46	-14
Greece	18	11	-7	37	33	-4
Poland	48	41	-7	69	68	-1
Czech Rep.	31	29	-2	34	38	+4
<b>MEDIAN</b>	<b>34</b>	<b>28</b>	<b>-6</b>	<b>60</b>	<b>45</b>	<b>-15</b>

# Pew Research Center

---

## Germans on Different Continent

	<b>EU median*</b>	<b>Germany</b>	<b>Diff.</b>
	<b>%</b>	<b>%</b>	
Economy is good	9	75	+66
Own country's leader is doing good job**	26	74	+48
Country strengthened by EU integration	26	54	+28
Personal economic situation is good	51	77	+26
EU favorable	43	60	+17
Economy improve in next 12 months	15	27	+12

\* Excludes Germany.

\*\* Leaders asked about include: Britain: PM Cameron; France: President Hollande; Germany: Chancellor Merkel; Spain: PM Rajoy; Italy: PM Monti; Greece: PM Samaras; Poland: PM Tusk; Czech Republic: PM Necas.

PEW RESEARCH CENTER Q4, Q5, Q6, Q9f, Q31 & Q32a-d.

---

# むすび

- ギリシャの離脱 (Grexit) の影響  
離脱するギリシャにとって  
ユーロは外貨  
ドラクマの導入に要する時間と費用  
他の周辺国への影響は不明
- 当面はドイツの意図に沿って維持か？
- しかし、長期的に可能か？  
ニコラス・カルデアの視点  
同じ問題の再発か？